

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 大里 忠 弘

副会長 宮内 榮

幹事 金島 弘

会計 金子 芳 則

2012～2013年度 RIテーマ

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012～2013 RI会長 田 中 作 次



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

e-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2720号 (2012年7月25日発行)

今週のプログラム

『節水について』

アクア・プラン株式会社

代表取締役 北山 喜一様

前回の例会報告 (7月18日)

点鐘： 大里 忠 弘 会長

ロータリーソング： それでこそロータリー

会長挨拶

7月16日月曜日地区の米山奨学生およびカウンセラー研修会が行われました。当クラブの米山奨学生キムユリさんのカウンセラーの宮内龍雄会員が参加されています。お疲れ様でした。また科学大学カフェマリーナにおいて訪日文化研修団送別会が行われ、金島幹事と私がお邪魔しました。ブラジルとアメリカから加計学園が提携している学校よりの生徒さんが20名ほどこれら日本各地を文化研修されたとのこと。先日、杉山会員がこのなかの一人をホームステイさせております。迫力あるマグロの解体ショーや勇壮な銚子跳ね太鼓等アトラクションをすぐ目の前で

見せていただき圧倒されました。坂本会員、内田会員お世話になりました。

さて、本日は恒例の出席 100%表彰を行います。昨年度 100%以上出席者は 33 名、出席率は 85.99%でした。尚、累積 25 年 100%出席が桜井会員、織田会員お二人です。大変すばらしいことだと思います。これからも健康に留意され続けていかれることをお願いします。一週間に一回決められた曜日時間に来るということは、我々にとってなかなか難しいものです。しかしながらロータリーは、例会への出席が義務の一つであり、会員としての最小限の奉仕です。まずは例会に出席しなくてはロータリーの目的は達せられません。食事を共にしながら何気ない会話を交わしたり情報交換をしたりそれらによって友情を深める。そして、会員同士の信頼関係が築かれ、同じ思いを持った人間の集まりとなってクラブは成長し、ともに奉仕を行うことができるようになるのです。ロータリーは会社や事業団体ではなくクラブですから、な



累積 25 年 100%出席 桜井会員



第2790地区

ガバナー 得 居 仁 (松戸東RC)

会報委員

大岩將道、坂本尚史、越川信一

にかと会員一人一人の自発性が問われます。どうか、今日はちょっと例会に出る気分ではないなと思ってもそこは気を取り戻して出席してください。もしも欠席された場合はメイクアップを忘れずをお願いします。また例会への出席が会員の義務の一つということならば、例会は魅力あるもの楽しいもので無ければなりません。大切な時間を如何にして有効かつ効果的にするか、これもロータリークラブ運営の大事なテーマではないでしょうか。

会員の記念日

◇誕生日おめでとうございます
大里 忠弘 会員（7月13日）

幹事報告

1. 週報拝受 ……館山RC、八日市場RC、旭RC、銚子東RC
2. 活動計画書拝受 ……館山RC
3. 社会を明るくする運動の御礼
……社会を明るくする運動銚子市実行委員会
4. 識字率向上プログラムご協力のお願い
……NPO さいたまユネスコ協会会長本多隆様

例会変更

八日市場RC：7月31日 柿岡屋にて納涼会
8月14日 定款により休会

ニコニコ

なし

委員会報告

◇例会運営委員会（宮内龍雄委員長）
11-12年度100%出席者に記念品を配りました。今年度は全員となるようお願いいたします。また、累積25年100%出席会員は桜井、織田両会員でした。

◇米山カウンセラー（宮内龍雄会員）
第2回研修会に出席してきました。ロータリアン30名、米山奨学生25名が出席し、有意義な研修会でした。

◇社会奉仕委員会（猿田正城委員長）
春の交通安全街頭指導にご参加下さい。
7月20日（金）三崎町交差点
7月25日（水）銚子大橋交差点他7カ所
いずれも16時～17時。

卓話

講師を体験して

石毛 充 会員

去る5月24日、出前教室ということで、銚子市立第六中学校へ講義に行ってまいりました。当日は、銚子ロータリークラブより2名、銚子東ロータリークラブより2名の参加となりました。



私は、出前教室に2度ほど応援で参加させていただいたことがあります。しかし、その時にはまさか自分が教壇に立つ側になるとは思いもよりませんでした。もともと話すのが苦手でしたし、そういう機会にもあまり恵まれませんでしたので、できれば避けて通りたいところです。当初私は講師をする予定はありませんでしたが、金島幹事からの要請で急きょ「よろしく」とのことでお話を頂きました。

「うっ、まずい」、お断りしようかとも思いましたが、ついうっかり金島幹事に「はい、分かりました」とお答えしてしまいました。もちろん心の中では「あ～、言っちゃったよ」という感じです。

さて、ここからが問題です。どうしたらいいのでしょうか。何を話すのか、40分間の講義の内容を考えなくてはなりません。いろいろ考えて何日も悩み、自分の職業について話すことにしよう、と思い立ちました。私は印刷業を営んでおりますので、印刷の流れを「一冊の本ができるまで」と題して、講義をすることにいたしました。さあ、資料作りにカンペ作り。やることはたくさんあります。とぼっちりで、弊社制作部の社員にフロー

チャートやスライドを作るのを手伝ってもらい、必死で作成し組み立てました。カンペは妻に知恵を借りました。小物としてカラーセロハンを用意したりというアイデアも出ましたので、なんとか準備することができました。

あとは、自分の舞台度胸です。スムーズに話さないとなりません。緊張でドキドキしておりました。講義をするに当たり、始めは、何人の生徒が来てくれるのだろうか、内容は分かりやすいだろうか、上手に話せるだろうか、と心配でした。特に私には、嘸まないで話すことが一番重要な点なのです。

当日は、六中の二年生を前に出前教室で講義が始まりました。まずは給食をいただきましたが、緊張のあまり味も分からず何を食べたかも覚えておらず、後で写真を見てやっとメニューを思い出したくらいです。

私の講義は佐藤直子会員の後でしたので、佐藤会員の素晴らしい講義の様子を拝見し「さすがに佐藤会員はお上手だなあ」と感嘆いたしました。ですが、感嘆している場合ではありません。

「うわ、次だ」、そうです。いよいよ私の番です。人生50年、テレビの「はじめてのおつかい」ではありませんが、ドキドキバクバクしておりました。気持ちは、3歳の孫がはじめておつかいに行くようなものです。ところが、教壇の前に立ったとたん、今までの緊張感がスーッと消えてしまったのです。

「何だろう、この感じは?」、そう思いながら話し始め、生徒たちの方に目を向けると、みんな良い目をしています。全員が私の方をきちんと見て、全身で聞いてくれています。感動いたしました。張り切って話し続け、途中でお笑いも混ぜてみましたが、なぜか生徒たちの笑いはあまりありませんでした。爆笑しているのは当ロータリークラブの会員ばかり。なぜでしょうか。いまだきの中学生の笑いをとるのは難しかったです。受けねらいは残念ながら失敗。

講義の持ち時間は40分でしたが、10分ほど余ってしまい、最後にどうしても生徒たちに大きな笑いと感動を印象付けたいと思い、思いっきり叫びました。

『夢にときめけ！明日にきらめけ！』

BY ルーキーズ

TVドラマの名台詞で決めました。これには生徒たちも笑ってくれました。

ああ、良かった。やっと受けましたね。

6中の校長先生、教頭先生にもお褒めの言葉をいただき、「また機会がありましたら是非お願いします」とおっしゃっていただくことができました。

た。これはとても嬉しかったです。人に思いを伝えるには、心をこめて全身全霊で話すこと、全身で訴えることが必要なのだと実感いたしました。

最後になりますが、今回のロータリークラブ出前教室で講師を経験させていただき、本当にありがとうございました。

話すことが苦手ではありましたが、この経験で得た充実感を機に一步前進することができました。これもひとえに銚子ロータリークラブに入会して得た様々な活動の中でチャンスを活かし、その中で学ぶことができた結果だと思います。ロータリアンとしてはまだまだ未熟ですが日々努力し続け、これからも一生懸命活動してまいりたいと存じます。ありがとうございました。

出前教室に参加して - 『人生の課題』 -

佐藤 直子 会員



今回、中学生の「出前教室」ということで、5月に第6中学校に行っていました。その趣旨は若い世代に対して将来の職業選択としてのキャリア学習、あるいは社会勉強の一環としての自主・自律の精神を育成するためということでしたが、職業選択の目的だけならば「介護の実際」という話だけでも良かったのですが、この第二反抗期と呼ばれる多感な時期には、もっと個人的な悩みや他人との触れ合いの中で感じて欲しいことが沢山あり、敢えて、「人の成長の過程で獲得しなければならないもの」ということに焦点を当てたいと思い、『人生の課題』という少し重い題になってしまいました。

まず、最初に質問をしてみました。みなさんのおうちで、祖父母と同居している人という質問では、手を挙げたのは半数以下。その祖父母の年齢を聞いてみると、当然のことながら、60代、70代の方が中心。そういった家族構成の中で、高齢者とは一体どのくらいの年齢の方を指しますかという質問には、大体60歳くらい、と答えたのです。それだけ、彼らにとっての高齢者とは遠い存在なのです。

なぜ、こんな質問をしたのかと言いますと、今や核家族化の進む中で、昔のような大家族の中で自然と学んだ「人としての成長、または老化、そして死の過程」をあまりにも知らな過ぎるという

危惧を普段から感じる事があったからです。

そこで、こんな話をしてみました。うちの施設では、年間3回、「保育園児との交流会」がありますが、最初の頃、その園児たちも、初めて見る、初めて接する80代、90代という高齢者を前に、びっくりして固まってしまう子、または後ずさりする子もいるという光景を目にし、ある意味こちらの方が衝撃を受けたことがあったということ。しかし、これは決して笑い事ではなく、寧ろ当然のこと。つまり、人は、「知らない」ということだけで、恐怖なのです。それこそ、年齢差90歳、車いすを利用している方もいれば、「認知症」という病気のため、大きな声を出して喜びを表現する「年と取った人たち」を、彼らは知らないのですから、それを「怖い」と感じるのも無理はないのです。

さて、次に、「盥から盥へ移る ちんぷんかんぷん」という、ちょっと奇妙な句を紹介しました。(皆さんはお分かりでしょうか?) これは、小林一茶の句なのですが、ここに出てくる二つの盥(たらい)。初めの盥は、赤ちゃんが生まれた時に産湯のために使う盥です。すると、もう一つは、死んだときに湯灌をする盥を指します。もう自宅でお産婆さんに取り上げられることは少なくなり、今の子の多くは、病院や産院で生まれていることでしょう。そして、昔の人はみんな自宅で死にました。現在では、約90%の方が病院でなくなります。

「盥から盥へ。」。この盥から盥の間に、私たちは其々個性豊かな人生が営まれますが、ところが、その人生はよく見えないのです。何が起こるか分からないのです、そんなことを一茶も感じていたのでしょうか。という話をしました。中学2年生というと13歳、14歳という年齢、意識レベルの違いはあっても、これから話す内容に繋がっていくことを理解して欲しかったのです。

(蛇足ですが。今、天津の中学生のいじめによる自殺のことが、新聞や報道を賑わしていますが、中学生とは、まだ「人生」という意味をそんな深く考えることの出来ない年齢なののでしょうか? 自分の生に向き合わない子は、人の生を感じられるはずもなく、それは、ちゃんと「生きる」ということの意味を教えない大人たちの責任でもあり、改めて感じています。)

さて、そこで、「人生の過程で獲得すべき課題」という本題に入っていました。ここでは、ドイツの心理学者エリック・H・エリクソンという人が考えた「人生のそれぞれの時期での発達理論」というものを紹介しました。これは其々の成長の過程で、人として獲得するもの、獲得すべきものと

しての「人生の課題」=「ライフタスク」として考えられたものです。

なぜ、これが「生きる」ということや「高齢者という存在」に繋がっていくかと言いますと、私は普段接している認知症のお年寄りの中にある混乱や、そこにある感情がどこからきているのかを理解したいという想いから、ある研修を一年半自主受講しましたが、それは自分の仕事として、認知症の方の苦しみを受容し、共感し、穏やかな日々を少しでも取り戻せたらと思ったからです。それが「高齢者と共に生きる」に繋がっていると思うのです。そこで学んだ、この「人生のライフタスク論」はそれらのことを知るための一つの重要な鍵であることを学びました。(次号に続く)

【ロータリー財団ミニセミナー】

7月18日の例会終了後、国際奉仕委員会によるロータリー財団ミニセミナーが織田会員を講師として開催され、12名の会員が出席しました。

【出席報告】

会員総数 39名 出席計算 37名
出席：31名 欠席6名 出席率 83.78%
欠席：阿天坊君・石川君・伊東君・金子君・織田君・島田君

【M U】

織田君 (7/18 木更津東)

△米山カウンセラー研修会 (7/16)

宮内(龍)君

△千葉科学大学RAC例会 (7/16)

佐藤君・内田君

【ニコニコ】

| | | | |
|---------|---------|---|----------|
| ニコニコBOX | ¥ 3,000 | 計 | ¥ 54,000 |
| スモールコイン | ¥ - | 計 | ¥ 5,855 |
| 米山BOX | ¥ 2,841 | 計 | ¥ 2,841 |

次週のプログラム(8月1日)

『会員増強月間にちなんで』

杉山俊明 会員

お弁当: フランケット(洋食)